

令和7年度第3回神奈川県在宅医療推進協議会訪問看護部会議事録

- 日 時 令和8年2月26日(木) 14時00分～15時30分
- 会 場 Zoomによるオンライン開催
- 出席者 加藤委員、鈴木委員、西田委員、伊藤委員、堀田委員
(事務局) 伊東保健医療人材担当課長、由井課長代理、近藤副技幹、
小池主任主事、安部相談員

1. 事務局より会議運営のお願い等について説明

2. 開会宣言と伊東担当課長より挨拶

3. 事務局より報告1、2について資料に沿って説明、および補足

報告事項

- 1) 訪問看護相談窓口の相談状況(神奈川県訪問看護ステーション協議会委託事業)
(資料3)

【鈴木委員より補足】

やはり訪問看護指示書についての質問が多いです。軽微な変更の取り扱いや、精神科を標榜していない医師から精神科の訪問看護指示書がもらえるのか、施設やデイサービスに処置に行くことは可能なのか、などです。一方で、訪問看護のみなし指定と訪問看護ステーションの新規開設はどちらがどういいか、学生の看護実習を受け入れたいがどうしたらいいか、というような大変ありがたい、前向きな質問もありました。援助時の感染対策として、ヘルパーにディスポーザブル手袋の使用をお願いしたいが介護事業所の考え方や経済的な問題でディスポーザブル手袋を使えず困っている件と、感染対策に関する勉強会を実施したいという件については神奈川県看護協会へつなぎご指導いただくことになりました。

報告事項

- 2) 令和6年度看護職員就業実態調査(訪問看護ステーション)結果報告(資料4)

【西田委員】

報告1で、10月に飛び抜けて訪問看護相談の人数件数が多かった背景として何かありましたか。

【事務局】

神奈川県訪問看護ステーション協議会の定例会が10月にあったため、そこで周知した影響だと思います。

【鈴木委員】

私どももそう考えています。2月にも神奈川県訪問看護ステーション協議会の会議がありましたので、少し増えるかもしれません。(10月のように)1ヶ月に26件(相談が)来るとかなり負担ではあります。

【加藤委員長】

週2回、1日4時間を2人で相談を受けているということで、大変な事業だと思いますが、相談者からタイムリーに返事が欲しいというような要望はありますか。

【鈴木委員】

「最低限週2回は回答する」としてはいますが、早く回答が欲しいという希望はあります。そういう方はお電話でお伺いしてじっくりお伝えしますが、基本的に回答はメール(文書)でお渡しすることにしてはいます。今は毎日して欲しいという要望は聞いておりません。その他には「ケアマネジャーにこんなことを守って欲しい」というような要望がありました。今年度が終わりましたらまとめてQ&Aとしてホームページに可能な範囲で公開させていただきます。

【加藤委員長】

限られた時間での対応なので、件数などが増えるようならば県との協議事項改定にもなるのかなと思います。

【堀田委員】

訪問看護指示書に関する相談について、私が聞いている中では「訪問看護指示書送付用封筒を準備するよう診療所から言われる」ことが課題として挙がっていたのですが、このような相談は川崎市だけでなく県全体でありますか。

【鈴木委員】

ありますが、こちらは厚生労働省から出された回答しか出すことができません。「医師の責任において訪問看護指示書は交付されるもの」と回答しています。全国で同じです。訪問看護指示書やDXのことは医師会・主治医の方とまだまだ隔たりが大きいので、神奈川県医師会との定期会議でも言い続けてまいります。医師サイドでも医師により対応に違いがあるというのが大方の医師会の医師の方のご意見でした。訪問看護指示書をPDFで送

付し、押印を依頼するとか、使いまわしのような指示書を送付してくるなどいろいろありますが、原本が基本です。送付時の切手・封筒問題は全国レベルでも同じです。

【堀田委員】

訪問看護は指示書に基づいて提供されるものなので、医師サイドにしっかり認識していただくためには多方面から動きかけをするべきで、川崎市看護協会も市に要望事項として挙げていますので、粘り強くやっていけたらと思います。

【西田委員】

報告2について、離職率の算出方法を教えてください。看護師養成機関におり実習で様々なステーションに伺うのですが、2割近くの方が離職されている結果とは合わないように思います。

【事務局】

離職率は、分母が平均職員数、分子が退職者数です。平均職員数は4月1日付け職員数と3月31日付け職員数を足して2で割り求めています。

<補足：R6年度看護職員就業実態調査 離職率について>

離職率（％）＝退職者数/平均職員数＊100

退職者数　　： R6.4.1～R7.3.31の退職者数

平均職員数　： (R6.4.1職員数＋R7.3.31職員数)/2

【西田委員】

分子・分母とも調査に回答したステーションの従事者数の合計、分子は調査に回答したステーションの従事者の中で離職された方の人数ということですね。

【事務局】

その通りです。

【堀田委員】

離職率18.4%とか19.5%という数字は、神奈川県内の病院の離職率と比較してとても高く、前年比でも高くなっているという理解でよいでしょうか。

【事務局】

病院の離職率は今年度が13.4%、前年が13.9%（いずれも常勤看護職員）でした。比較してステーションの離職率がかなり高いです。肌感覚で構わないのですが皆様はどのように

お感じですか。

【加藤委員長】

病院よりも離職率が高いのに驚きました。ただステーションが身近にたくさんあるので簡単に別のステーションに転職をするというような話を耳にしたことがあります。若い人の傾向かもしれませんが、自分（の価値観）に合うか合わないか、というところで結構離職を安直に考えているというようなご相談を頂いたこともありました。

【鈴木委員】

ステーション数が増えている一因として、自分の思う看護がしたいので仲間と新たなステーションを立ち上げた、ということがあります。ですから離職率は高いですが、もし再就職率を調べるならばこちらも高いのではないかと思います。西田委員が疑問に感じられたのは、ステーションに看護師がいないのではなく、自分の価値観が合うところへ移る、あるいは新規開業しているから、なのだと思います。

【伊藤委員】

鈴木委員と同じ意見です。訪問看護ステーションの離職率は急に上がったわけではなく、おそらく18%台で病院より高い数字で推移していたと思います。ステーション管理者は病院と違い管理教育を受けている者だけになるわけではなく、設置主体により理念や方針が変わってくるため自分に合わないこともありますので、ステーションからステーションに転職をする方が多いのではと感じています。

また在宅における看取り対応施設が増えていて、そういう施設がかなり高額（な給与）で募集をしています。そういう影響もあるかもしれません。

5. 事務局より議題1について説明

議題1 第8次保健医療計画に係る訪問看護ステーション管理者研修の拡充について
(資料1)

6. 議題1について意見交換

【加藤委員長】

前回会議で検討した内容を整理し、年間スケジュールも具体的に示されました。目的の達成度を量的・質的に評価をして次回の研修に繋げるため、研修アンケートを4もしくは5段階で量的な部分を、自由回答で質的な部分をいただくということでした。

【西田委員】

研修アンケートを4段階で回答するというのですが、選択肢がこの4つ（資料1 スラ

イド 11、吹き出し内) ということですか。

【事務局】

例えば「1. 訪問看護に係る現行制度の理解が深まった」、に対して4段階、「2. 日常業務において直面する課題に対し解決方法を理解できた」、に対して4段階で評価するイメージです。

【西田委員】

わかりました。

プログラムはこれで良いと思いますが、4月開講なので可及的速やかに周知・募集されるよう進めていただきたいと思います。

【加藤委員長】

定員を超える申し込みの場合は何か考えていますか。

【事務局】

zoom なので多少の増であれば大丈夫だと思います。

【加藤委員長】

柔軟なご対応をいただけるということですね。

7. 事務局より議題2について説明

議題2 令和8年度訪問看護推進支援に係る事業計画案(資料2)

8. 議題2について意見交換

【加藤委員長】

研修については、定員数・開催数を増やすことで受講しやすい環境作りが伺える内容でした。特定行為研修については、周知、アナウンスが必要だとも感じました。

次年度の計画案についてご意見等ございますか。

【鈴木委員】

新任訪問看護師育成事業については、協議会内の委員会メンバーを昨年度から増員し、新任訪問看護師育成プログラムとマニュアルのリニューアルに取り組んでいます。次年度は新しいプログラムとマニュアルを出し、管理者研修でも用いて研修をできようかと考えています。

【加藤委員長】

部会の令和8年度スケジュール案も出ていますが、第8次保健医療計画の中間見直しの年なので KPI や打ち出した目標に向けての評価を取りまとめていくことになると思います。

【事務局】

開催時期につきましてはご相談させていただきたいと思います。

9. 事務局より連絡等

傍聴者希望が1名おりましたが入室はありませんでした。

次回会議は次年度夏頃を予定しておりますが、改めて調整させていただきます。

委員の任期は令和8年度末までですので次年度も引き続きよろしくお願いいたします。

10. 事務局より閉会の挨拶